

Corel®
Painter® 2021

PAINTER 2021のご紹介



Copyright 2020 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel® Painter® 2021 基本情報ガイド

このユーザー ガイドの内容、および関連する Corel Painter ソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）は、Corel Corporation（以下「Corel」という）および該当するライセンサーに帰属し、著作権で保護されています。Corel Painter の著作権について詳しくは、ソフトウェアの [ヘルプ] - [Corel Painter について] をご覧ください。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報（以下「仕様」）は、販売用英語版のみについてのものです。その他すべてのバージョン（他言語版を含む）の仕様は異なることがあります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件（市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない）を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、Corel 社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または偶発的損害（売上または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない）につき一切責任を負わないものとします。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者によるいかなる請求についても責任を負いません。Corel の責任の合計額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。州または国によって偶発的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがあります、その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

Corel、Corel Balloon のロゴ、Corel のロゴと Balloon のロゴとの組み合わせ、Painter、CorelDRAW、Natural-Media、PaintShop、RealBristle、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、および / またはその他の国における Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。その他の製品、フォント、企業名、ロゴは、それぞれの企業の商標または登録商標です。
特許：www.corel.com/patent

サンプルのアートワークは、Corel の関連企業ではないサード パーティにより作成されており、許可を得て使用されています。

208068

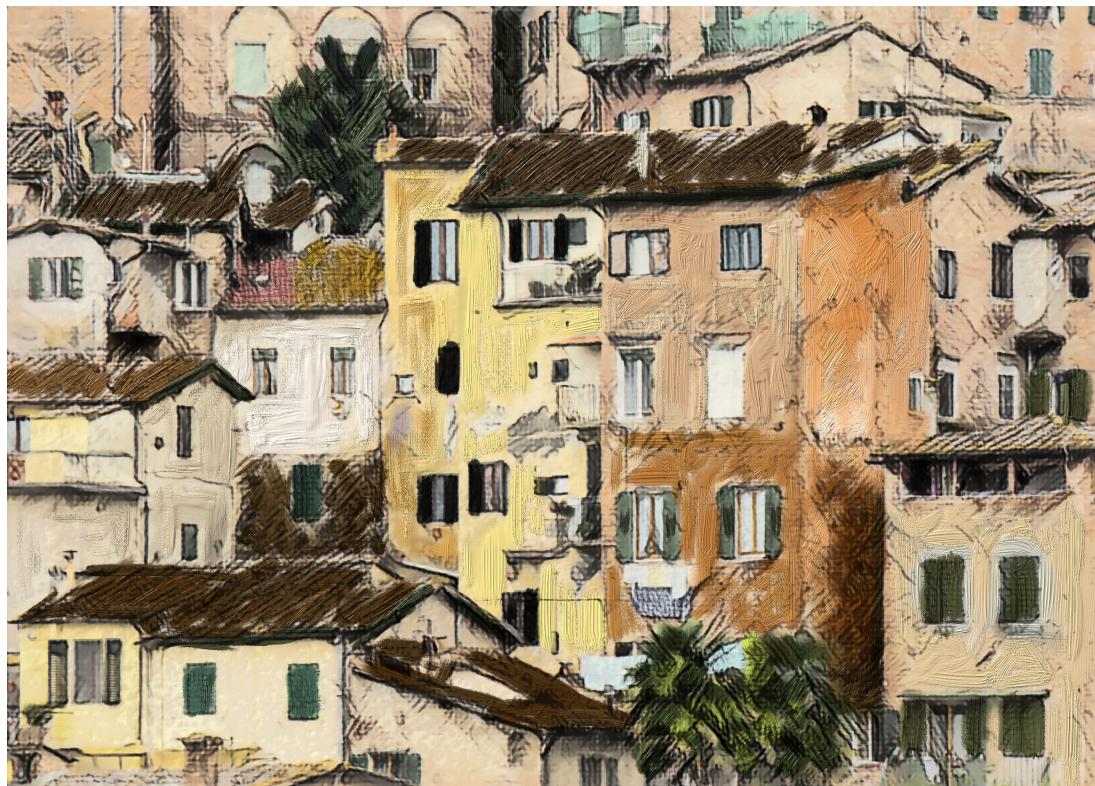
目次

Corel Painter 2021.....	3
Corel Painter 2021 の新機能.....	4
作業領域の概要.....	11
作業領域レイアウトを選択する.....	13
ブラシを選択/変更する.....	15
ツールボックスについて.....	20
パネルとパレットについて.....	24
ワークフローを選択する.....	30
その他のリソース.....	41



Corel Painter 2021

Corel(R) Painter(R) 2021 は究極のデジタル アート スタジオです。その画期的な描画ツール、リアルなブラシ、クローン作成機能、カスタマイズ可能な機能により、これまでにないエキサイティングな手法で、より創造性の高い表現が可能になります。Corel Painter の感圧ブラシを使用すると、自分の手の延長のようななめらかな動きで、驚くほどの高い質感や正確さを持ったブラシストロークが実現できます。さらに、独自の Natural-Media(R) ブラシを作成し、ブラシとキャンバスとの反応をカスタマイズすれば、多様な方法で芸術的なアイディアを発展させることができます。Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。



Corel Painter で作成したアートワーク。アートワーク作成者 Deborah Kolesar

Corel Painter 2021 の新機能

機能強化! パフォーマンスの最適化

Corel Painter 2021 は、最新のプロセッサ (CPU)、グラフィック プロセッサ (GPU) およびメモリを使用して、最高のデジタル ペイント体験を提供します。GPU の互換性と効率性が向上し、すばやくブラシとツールを切り替えることができます。

強化された Brush Accelerator は、さらに直感的になり、システムの CPU、GPU、メモリを評価して、アプリケーション設定を最適化しパフォーマンスを高めます。また、システム要素のアップグレードを提案したり、使用コンピュータと相性のいいブラシ カテゴリを推奨したりします。



Brush Accelerator がシステムを評価し、生成されるレポートでテスト結果を確認できます。

Brush Accelerator を実行するには

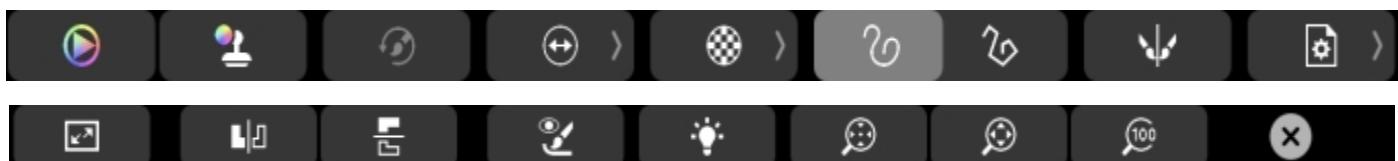
- 1 Welcome 画面で [パフォーマンス] タブをクリックします。
Welcome 画面が開いていない場合は、[ヘルプ] ▶ [Welcome] を選択します。
- 2 [今すぐ最適化する] をクリックします。
テストは、**Esc** キーを押していくつでもキャンセルできます。



Brush Accelerator は [環境設定] ダイアログ ボックスの [パフォーマンス] ページ (macOS: [Corel Painter 2021] メニューの [環境設定] ▶ [パフォーマンス]、Windows: [編集] ▶ [環境設定] ▶ [パフォーマンス]) と [パフォーマンス] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [パフォーマンス]) からも実行できます。

新機能! Apple Touch Bar サポート

Painter は MacBook Pro の Touch Bar をサポートできるようになりました。これにより、選択したツールに応じて変化する状況依存コントロールが提供されます。たとえば、ブラシで作業している場合、Touch Bar により、カラーの選択、カラーのクローン、ブラシ サイズや透明度の調整などに関するコントロールが表示されます。





Touch Bar のコンテンツは、アクティブなブラシやツールに応じて変わります。たとえば、[アーティストの油彩] カテゴリ (上) からバリアントを選択した場合、Touch Bar にカラーを選択するコマンドが表示され、ブラシ サイズと透明度、ストロークのオプションが調整されます。[クローン] カテゴリ (中) からバリアントを選択した場合、Touch Bar からその他のコントロール (トレーシング ペーパーの表示/非表示など) にアクセスできます。Touch Bar を使用すると、便利なドキュメント オプション (下) にアクセスして、Sidecar の使用、書類ビューの切り替え、キャンバスの反転、拡大/縮小などを実行することもできます。

新機能! Apple Pencil 傾斜サポート

Apple Pencil の新規傾斜サポートにより、ペイント中に選択したブラシを傾けて、ブラシストロークのシェイプを正確に制御できるようになりました (鉛筆でのシェーディング、エアブラシの照準、ソフト ブリスルのスプレーなど)。

機能強化! Apple Trackpad サポート

Mac のマルチタッチ トラックパッドの感知サポートにより、トラックパッドでスワイプ、ピンチ、親指と人差し指を開く操作で、便利なアクションを実行できます。これにより、作品をすばやく直感的かつ効率的にパン、拡大/縮小、回転させることができます。

トラックパッド サポートを有効/無効にするには (macOS)

- 1 [Corel Painter 2021] メニュー ▶ [環境設定] ▶ [タブレットとトラックパッド] を選択します。
- 2 [トラックパッド オプション] 領域で、[トラックパッド搭載 Apple デバイスでパン、ズーム、回転を有効にする] チェック ボックスを有効/無効にします。

新機能! Apple Sidecar サポート

Painter 2021 では、iPad を Mac デスクトップをミラーリングするセカンド ディスプレイとして使用できます。Painter のユーザーインターフェースは、iPad の解像度に基づいて自動調整されます。

新機能! クローン着色

動的にカラーを追加して、クローン ソースと混ぜ合わせができるようになりました。クローン着色を有効にしてペイントしながら、クローン ソースとは関係なく現在選択しているカラー (採取したカラー) をブラシに追加できます。この高度な多目的な技術は、クローン カラーまたはクローン手法を感知するすべてのブラシでサポートされます。また、マルチポイント クローンと連動して、クローン作成中にクリエイティブなオプションを多数提供します。さらに、プロパティバーの [クローン カラー] および [クローン ソース] フライアウトにより、設定、オプション、パネルにすばやくアクセスできるため、クローン作製のワークフローが向上します。



クローン着色を使用すると、カラーを追加して、クローン ソースと混合できます。アートワーク作成者 Dana Diamond.

クローン着色を適用するには

- 1 [ブラシ セレクタ] で、クローン ブラシを選択します。

ヒント: 他のカテゴリからのブラシを使用してペイントするには、ブラシを選択して、[カラー] パネルの [クローン カラー] ボタン ([ウィンドウ] ▶ [カラー パネル] ▶ [カラー パネル (フル ビュー)]) をクリックします。

- 2 プロパティ バーの [クローン カラー] フライアウト ボタン をクリックして、[カラー着色] チェック ボックスをオンにします。
- 3 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

ブラシストロークに適用する着色量を設定します

操作内容

[量] スライダを調節します。

特定のスタイラスやマウスの動きに着色をリンクします

[表現設定] リスト ボックスからオプションを選択します。

- 4 [カラー] パネルのカラー ホイールの上にポインタを移動して、カラーを選択します。
- 5 クローン書類にペイントします。



[正確なサンプリング] チェック ボックスをオンして、描点の中央からカラーを採取します。これは、透明なイメージのクローン作製に役立ちます。

機能強化! UI 要素

Painter 2021 では、よく使用されるコマンドやオプションに素早くアクセスできるようになっており、作業のスピードと効率が上がります。フォトアーティストの場合、新しい**[フォトアート]** コマンドバーを使用すると、即座にクローンを作成し、フォトアートパネルにアクセスし、表面テクスチャを適用し、さらに、カラー、輝度、コントラストを調整し、明度を補正することができます。ペイントできる空間を増やすために、コマンドバーを画面の任意の場所に移動できます。

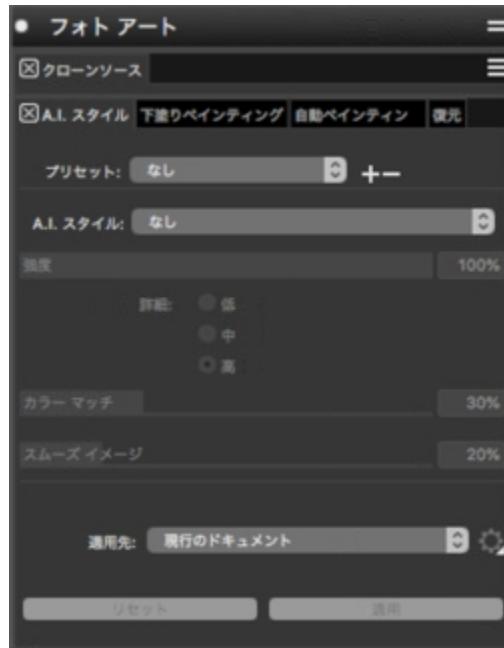
また、シックペイントブラシコントロールが再構成され、プロパティバーのフライアウトとパネルで最も重要なコントロールがすぐに使用できるようになりました。最新の**[インパスト]** フライアウトにより、パネルを開く操作が少くなり、キャンバスでの奥行の相互作用が簡単に制御できます。さらに、**[下塗りペインティング]** パネルから、クローンドキュメントとブラシオプションの設定に即座にアクセスできます。

機能強化! [新規イメージ] ダイアログ ボックス

すばやく開始するために、Corel Painter を使用すると、**[新規イメージ]** ダイアログボックスから直接、シックペイントレイヤー、水彩レイヤー、またはリキッドインクレイヤーを作成し、キャンバスの可視性と方向を設定し、カラー プロファイルを選択して、ドキュメントを開始できます。

新機能! [A.I.スタイル] パネルと転送

新しい**[A.I.スタイル]** パネルには、AIを使用して写真から様式化したペイントを作成するプリセットやスタイルが用意されています。AIスタイルの設定を微調整して、独自のカスタムプリセットを保存できます。さらに、写真、スケッチ、ペイント、さらにいくつかのシンプルなブラシマークなど Painter のほとんどの要素にスタイルを追加できます。AIスタイルの独自の外観は、写真アートの下塗りペインティングとして、または次の作品のインスピレーションとして役立ちます。



[A.I.スタイル] パネルを使用すると、任意の Painter ドキュメントにスタイル転送とプリセットを適用できます。

AIスタイルまたはプリセットを適用するには

- 1 イメージを開きます。
- 2 **[A.I.スタイル]** パネル ([ウィンドウ] > [フォトアートパネル] > [A.I.スタイル]) で、次のいずれかの操作を実行します。

- [A.I.スタイル] リストボックスからスタイルを選択して、適用します。
- [プリセット] リストボックスから適用するプリセットを選択します。

3 結果に満足したら、[適用] をクリックします。

以下のこともできます。

効果の強度を変化させる

[強度] スライダを動かします。

スタイル転送で詳細レベルを指定します

[詳細] 領域で、以下のいずれかのオプションを選択します。

- 低
- 中
- 高

オリジナルイメージから取得したカラー マッチングの割合を指定します

[カラー マッチ] スライダを調節します。

色やシャープなディテールを滑らかにします

[イメージのスムーズ化] スライダを調整します。

現在のドキュメントにスタイルを適用します

[適用先] リストボックスから [現行のドキュメント] を選択します。

新しいクローン ドキュメントにスタイルを適用します

[適用先] リストボックスから [新規クローン ドキュメント] を選択します。

ヒント: [設定] ボタン  をクリックして、キャンバスのクリア、トレーシング ペーパーの有効化、クローン ブラシ カテゴリの切り替えなどさまざまなクローン設定とブラシ設定を調整します。



AIスタイルまたはプリセットをデフォルトのレイヤーにのみ適用できます。AIスタイルまたはプリセットを水彩レイヤー、シックペイントレイヤー、リキッドインクレイヤーに適用するには、これらのレイヤーをデフォルトレイヤーに変換する必要があります。

マルチレイヤー文書では、現在選択しているレイヤーにのみ AIスタイルまたはプリセットを適用できます。



選択範囲にのみ AIスタイルまたはプリセットを適用できます。選択範囲について詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

[A.I.スタイル] パネルには、[A.I.スタイル] フライアウトボタン  ([フォトアート] コマンドバー ([ウィンドウ] ▶ [コマンドバー] ▶ [フォトアート]) にあります) をクリックしてアクセスすることもできます。

新機能! AIスタイルプリセット

新しいAIスタイルプリセットを利用すると、フォトアートをすぐに開始できます。これらの入念に調整された設定は、建築、肖像画、野生動物、風景など特定の種類の写真で最適に機能するよう調整されています。AIスタイルを使用して、クリック クローン ワークフローですぐに結果を確認することもできます。



2 つの AI スタイルプリセット: 愉快な動物 (上) と風景画 (下)

新機能! Apple Core ML

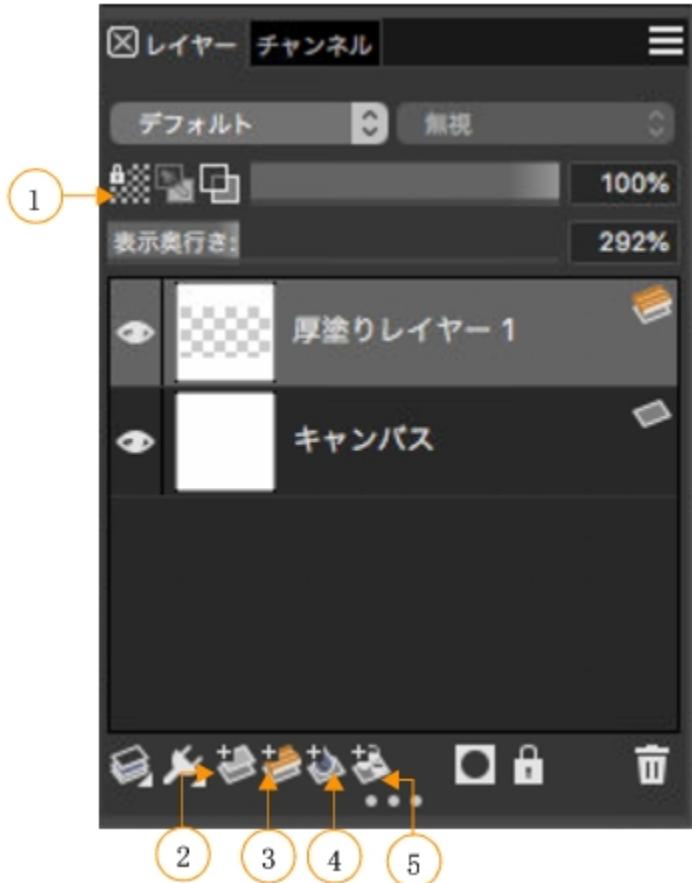
Painter 2021 は、Apple による最新の最も優れた機械学習 (ML) 技術を使用して、AI スタイルを提供します。

新機能! レイヤー互換性

機能強化したブラシセレクタでは、レイヤーと互換性のあるブラシを簡単に特定できるようになりました。ブラシバリアントの上にポイントアを移動すると、レイヤー互換性アイコンがデフォルト、リキッドインクレイヤー、シックペイントレイヤー、および水彩レイヤーに表示されます。また、レイヤー互換性アイコンをクリックして、各レイヤーと互換性のあるすべてのブラシを検索できます。

機能強化! [レイヤー] パネル

1 回のクリックで、新しいデフォルトレイヤー、シックペイントレイヤー、水彩レイヤー、およびリキッドインクレイヤーを追加できるようになりました。また、[レイヤー] パネルでシックペイントの可視奥行を調整し、レイヤーにブラシストロークを適用するときにシックペイントの奥行を動的に制御できます。さらに、パネルのレイヤー オプション メニューが再構成され、レイヤーメニューのコマンドにすばやくアクセスし、簡単に調整できます。また、パネルの下にあるアイコンを右クリック (Windows)、またはタッチパッドを 2 本指でクリックして (macOS)、コンテキストメニューに簡単にアクセスできます。



[レイヤー] パネル: 新しい [可視奥行] スライダ (1) を使用すると、レイヤーでシックペイントの奥行を動的に制御できます。[新規レイヤー] (2)、[新規シックペイントレイヤー] (3)、[新規水彩レイヤー] (4)、[新規リキッドインクレイヤー] (5) ボタンを使用すると、1回のクリックでレイヤーを追加できます。

機能強化! レイヤー ワークフロー

Painter 2021 は、クリエイティブな作業に集中できるよう設計されたレイヤー ワークフローにその他の全般的な改良点があります。水彩レイヤーが改良され、2つ以上の水彩レイヤーを簡単にマージし、デフォルト レイヤーを水彩に変換し、水彩レイヤーを反転させることができます。さらに、すべてのレイヤーを即座にロック解除して、レイヤーグループやキャンバスを複製します。グループをマージする際は、最初のレイヤー名を保持して、レイヤーの調整中に **Shift** キーを使用して動きを制限します。

新機能! ブラシ

Painter 2021 は、Painter Masters が開発した新しいブラシを採用した [クローン着色] および [シックペイント対応] ブラシ カテゴリを導入しています。才能あるイラストレーター、美術家、優れた写真アーティストのグループが設計したブラシを利用することができます。

さまざまな種類とシェイプのブラシを利用することで、クローン着色ブラシは、現在選択されているカラーを取り込んで、クローンソースと混ぜ合わせます。シックペイント対応ブラシは、シックペイント技術の奥行、照明、影のすべてのメリットを利用するよう設計されています。さらに、9個の新しい機能強化したシックペイントブラシが追加されています。

新機能と機能強化! シックペイント ワークフロー

Painter 2021 は、最適化されたシックペイントワークフローが用意されており、再構成されたブラシコントロールパネルとプロパティバー フライアウトにより、頻繁に使用する設定にすぐにアクセスできます。シックペイントをブラシに適用する方法、ブラシの動作方法、刷新されたメディア、シェイプ、水分量フライアウトを使用してペイントが相互作用する方法を即座に調整でき、各パネルを開く必要性を減らしています。

さらに、シックペイントレイヤーのパフォーマンスが向上しました。これにより、レイヤーの複製や反転、可視奥行の調整、カラーのブロック時の透明度の保存を簡単に実行できます。キャンバス(写真など)を移動し、レイヤー(デフォルトレイヤーのブラシマークなど)をシックペイントに変換することもでき、アートワークに可視奥行を追加するさまざまな強力なオプションを提供します。

新機能! シックペイントの互換性

Painter 2021では、シックペイントをアートワークに簡単に統合できます。向上したブラシ互換性により、さらに多様なシェイプ(取得した描点やステンシル)、メディアのタイプ(オイルサーチェント、チョークと鉛筆、インクの重ね塗りサポート、クレヨン、墨絵など)が提供されます。また、デフォルトの外観と相互作用が改良され、シックペイントブラシストロークの可視奥行をすばやく非破壊的に微調整できます。全体的に、Painterによる自然な混合メディアとフォトアートは、かつてないほど強力で簡単になりました。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクタ、パネル、およびインタラクティブパレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、アプリケーションのウインドウのメインコンポーネントについて説明します。

コンポーネント

1. メニュー バー

説明

プルダウンメニュー オプションを使用して、ツールと機能にアクセスできます。

2. ブラシ セレクタ バー

[ブラシライブラリ] パネルを開き、ブラシ カテゴリとバリアントを選択できます。ブラシライブラリを開いて管理することも可能です。

3. ブラシ セレクタ フライアウト

ブラシライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、お使いのクリエイティブなブラシセットを補完す

コンポーネント

	説明
4.コマンドバー	コマンドバー（[ファイル/編集]、[キャンバス]、[フォトアート]）には、使用頻度の高いメニュー命令のショートカットであるボタンとコントロールが含まれています。
5.プロパティバー	アクティブなツールやオブジェクトに関連する命令が表示されます。たとえば、塗潰しツールがアクティブであれば、選択した領域を塗り潰すための各種命令がプロパティバー上に示されます。プロパティバーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループラベルにより、命令を手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。
6.[カラー]パネル	カラーの選択と、選択したカラーに関する情報の表示ができます。
7.[ハーモニー]パネル	ハーモニールールを使用してカラー ハーモニーを作成できます。
8.[レイヤー]パネル	レイヤーの階層を管理し、レイヤーの作成、選択、表示、固定、削除、名前の指定、グループ化を行うためのコントロールがあります。
9.キャンバス	キャンバスとは、書類ウィンドウ内にある長方形の作業領域です。このサイズにより、作成されるイメージのサイズが決定します。キャンバスはイメージ背景としても機能し、レイヤーとは違って、常にロックされています。
10.ツールボックス	イメージを作成、塗潰し、および変更するツールにアクセスできます。

作業領域レイアウトを選択する

作業領域レイアウト（「パレット配置」とも呼ばれます）は、パレットやパネルなどの作業領域の要素を特定のワークフローに応じて表示、非表示、および位置付けするものです。Corel Painter 2021 では、以下の作業領域レイアウトが提供されます。

作業領域レイアウト

Painter の新規ユーザー向け

説明

最も基本的なコントロールが [ヒント] パネルとともに表示され、Corel Painter をすぐに使い始めることができるようになります。

Classic

使い慣れた環境のままシームレスに移行したいと考える、以前のバージョンの Corel Painter のユーザーに最適です

作業領域レイアウト

デフォルト

説明

ほとんどのコンピュータで最適に動作するデフォルトの作業領域レイアウトです。詳細は、11ページの「[作業領域の概要](#)」を参照してください。

シンプル

ツールボックス、メニュー バー、拡張プロパティ バーを含む最小限のユーザー インターフェースを表示します

コンセプト アート

ブラシ、グラデーション、テクスチャのペイント コントロールに素早くアクセスできます。画面スペースを節約するために、ブラシとメディア パレットはパレット引き出しにわかりやすく分類されています。

イラスト

[参照イメージ] パネル、ブラシ、用紙、グラデーションを表示します

ファイン アート

従来のメディア ブラシと合成ツールに素早くアクセスできます

フォト アート

写真アーティストにより一般的に使用されるパレットが表示され、フォト、テクスチャ、ペイントのクローンを作成するためには最適な設定が提供されます。

マンガアート

ブラシ、用紙、グラデーション、ブラシ サイズ、不透明度コントロールに素早くアクセスできます

クリック切り替え機能を使用すると、2つの作業領域レイアウトを選択し、現在のタスクまたはデバイスの表示モードに応じて、それらを素早く切り替えることができます。この機能は、特にマルチモードまたはデュアルモードのデバイスを使用する場合に役立ちます。たとえば、デフォルトをレイアウト 1 として、シンプルをレイアウト 2 として選択すると、表示パネルをノートブック モードからタブレット モードに切り替えたときに、シンプル作業領域レイアウトが自動的に表示され、すっきりとした最小限のユーザー インターフェースを使用して作業できます。

作業領域レイアウトを選択するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] を選択し、レイアウトを選択します。



Welcome スクリーンからレイアウトを選択することもできます。この場合は、[設定] をクリックしてレイアウトを選択します。

作業領域レイアウトを切り替えるには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 1] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 2 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 2] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 3 レイアウト 1 とレイアウト 2 を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - デュアルモードまたはマルチモードのデバイスの表示パネルの位置を変更します（たとえば、ノートブック モードからタブレット モードに変更するなど）。
 - [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウトの切り替え] をクリックします。



デフォルトの作業領域レイアウトやユーザーが作成したカスタム作業領域レイアウト間での切り替えも可能です。カスタム作業領域レイアウトを作成および保存する方法について詳しくは、「[パネルとパレットを再配置する](#)」を参照してください。

ブラシを選択/変更する

Corel Painter 2021 にはブラシ バリアントと呼ばれる、絵筆や筆記具のプリセットが多数用意されています。ブラシ バリアントは、「エアブラシ」、「アーティスト オイル」、「カリグラフィ」、「ペンと鉛筆」、「水彩」といった多数のカテゴリに分類して登録されています。一部のブラシ カテゴリは現実の画材に近くなるよう設定してありますので、名前から大体どのような描き味のブラシか予想がつけられます。ただしカテゴリによっては対応する現実の画材が存在せず、これまでにない斬新な表現力をデジタルアーティストに提供するブラシも存在しています（画期的な粒子ブラシなど）。

ブラシ セレクタでは、ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、最近使用したブラシを表示し、さまざまな方法でブラシを整理して表示することもできます。たとえば、最近使用したブラシを非表示にして画面スペースを節約したり、ブラシ カテゴリとバリアントを非表示にしてよく使用するブラシを見つけやすくすることができます。

また、ブラシ セレクタを使用すると、デフォルトレイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリアントを即座に特定できます。ブラシ バリアントの上にポインタを移動すると、ブラシ セレクタの下にあるブラシ名の横に対応するレイヤー互換性アイコンが表示されます。レイヤー互換性アイコンをクリックすると、このレイヤーでペイントするすべてのブラシ バリアントを検索できます。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、
ブラシ セレクタのメイン コンポーネントについて説明します。

コンポーネント

- 1.前回使用したブラシ
- 2.ブラシセレクタ
- 3.ブラシ ライブラリ セレクタ
- 4.最近使ったブラシ

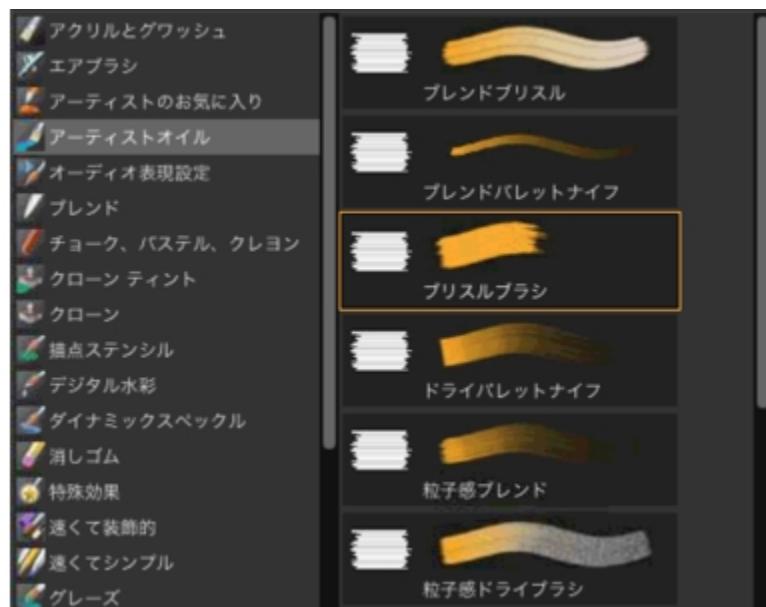
説明

- | | |
|---|------------------|
| 前回使用したブラシ バリアントにアクセスできます。 | 1.前回使用したブラシ |
| [ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。 | 2.ブラシセレクタ |
| ブラシ ライブラリを選択できます。 | 3.ブラシ ライブラリ セレクタ |
| 最近使用したブラシが表示されます。リストに表示されるのは、現在選択しているブラシ ライブラリのブラシだけです。別のブラシ ライブラリに切り替えると、最近使ったブラシのリストがクリアされます。 | 4.最近使ったブラシ |

コンポーネント

コンポーネント	説明
5.[ブラシ パック プロモーション] バー	ブラシ パック セレクタにアクセスしてブラシ パックを購入できます。
6.[ブラシ パック プロモーション] リスト	利用可能なブラシ パックを参照できます。
7.[ブラシ ライブラリ] オプション ボタン	さまざまな方法でブラシを整理して表示するのに役立つコマンドにアクセスできます。
8.ブラシ カテゴリブラシカテゴリ	ブラシ ライブラリ内のすべてのカテゴリを参照できます。ブラシ カテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。
9.[ブラシ ライブラリ] パネル	現在選択しているライブラリのブラシ カテゴリとバリエントを参照できます。
10.ブラシ バリアント	カテゴリ内のブラシ バリアントを参照できます。ブラシ バリアントとは、1 つのブラシカテゴリに含まれている特定のブラシとブラシ設定のことです。
11.[レイヤー互換性] アイコン	デフォルト レイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩 レイヤーと互換性のあるブラシ バリエントを特定し、検索できます

[ブラシ ライブラリ] パネルで、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリとは、類似するブラシやメディアのグループです。ブラシ バリアントとは、ブラシ カテゴリに含まれている特定のブラシのことです。ブラシ セレクタは、フローティング パネルとして開いたままにしておくこともできます。こうすると、ペイント中にブラシに素早く簡単にアクセスできます。[ブラシ セレクタ] パネルにはコンパクト ビューとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、ブラシのカテゴリとバリエントがどちらも表示されます。コンパクト ビューでは、ブラシ バリアントだけが表示され、スクロールしなくともより多くのブラシを一覧できます。



フル ビューでは、[ブラシ ライブラリ] パネルから、ブラシ カテゴリ（左）とブラシ バリアント（右）を選択できます。

ブラシ セレクタの表示/非表示を切り替えるには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

表示/非表示を切り替えるには

ブラシセレクタ

[ブラシ セレクタ] パネルがフル ビューで表示されます。

[ブラシ セレクタ] パネルがコンパクト ビューで表示されます。

操作内容

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [バー] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (フル ビュー)] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (コンパクト)] を選択します。

ブラシのカテゴリやバリエントを選択する

- ツールボックスで ブラシ ツール  をクリックします。
- ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- ブラシ ライブラリ パネルで、ブラシ カテゴリをクリックし、ブラシ バリエントをクリックします。

ブラシを検索する

現在選択しているブラシ ライブラリのコンテンツを素早く検索して、具体的な指定に一致するブラシを見つけられます。検索を実行するには、1 つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。たとえば、「鉛筆 リアル」という検索語句を入力すると、「リアル鉛筆」ブラシ バリエントのすべてのリストが生成されます。

ブラシ バリエントを検索するには

- 検索バーの [検索] テキスト ボックスに、ブラシ属性 1 つ、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。
- リスト内のブラシ バリエントの上にマウスを置くと、フライアウトの下部にブラシストロークのプレビューが表示されます。
- リストからブラシ バリエントを選択します。



検索バーは、デフォルトではクラシック レイアウトにおいてのみ、プロパティ バーの右側、書類ウィンドウの右上隅に表示されます。検索バーをその他すべてのレイアウトで表示するには、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックします。



ブラシ セレクタで [レイヤー互換性] アイコンをクリックすると、このレイヤーでペイントするすべてのブラシ バリエントを検索できます。

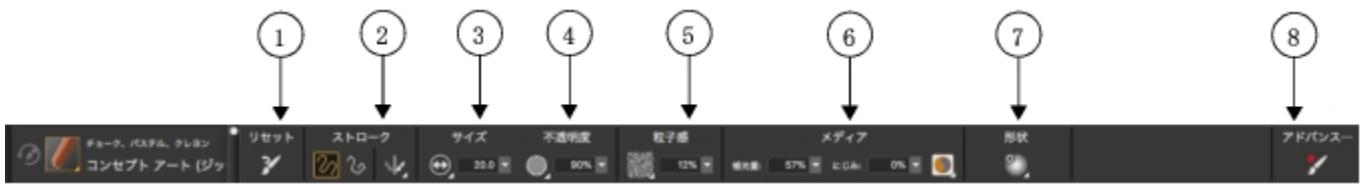
検索ボックスに「2021」と入力すると、Corel Painter 2021 の新規のブラシまたは更新されたブラシを検索できます。

検索語として「GPU」、「AVX2」、「マルチコア」などと入力すると、これらのテクノロジーを活かすブラシを検索できます。

以前検索バーを非表示にした場合は、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックして表示できます。

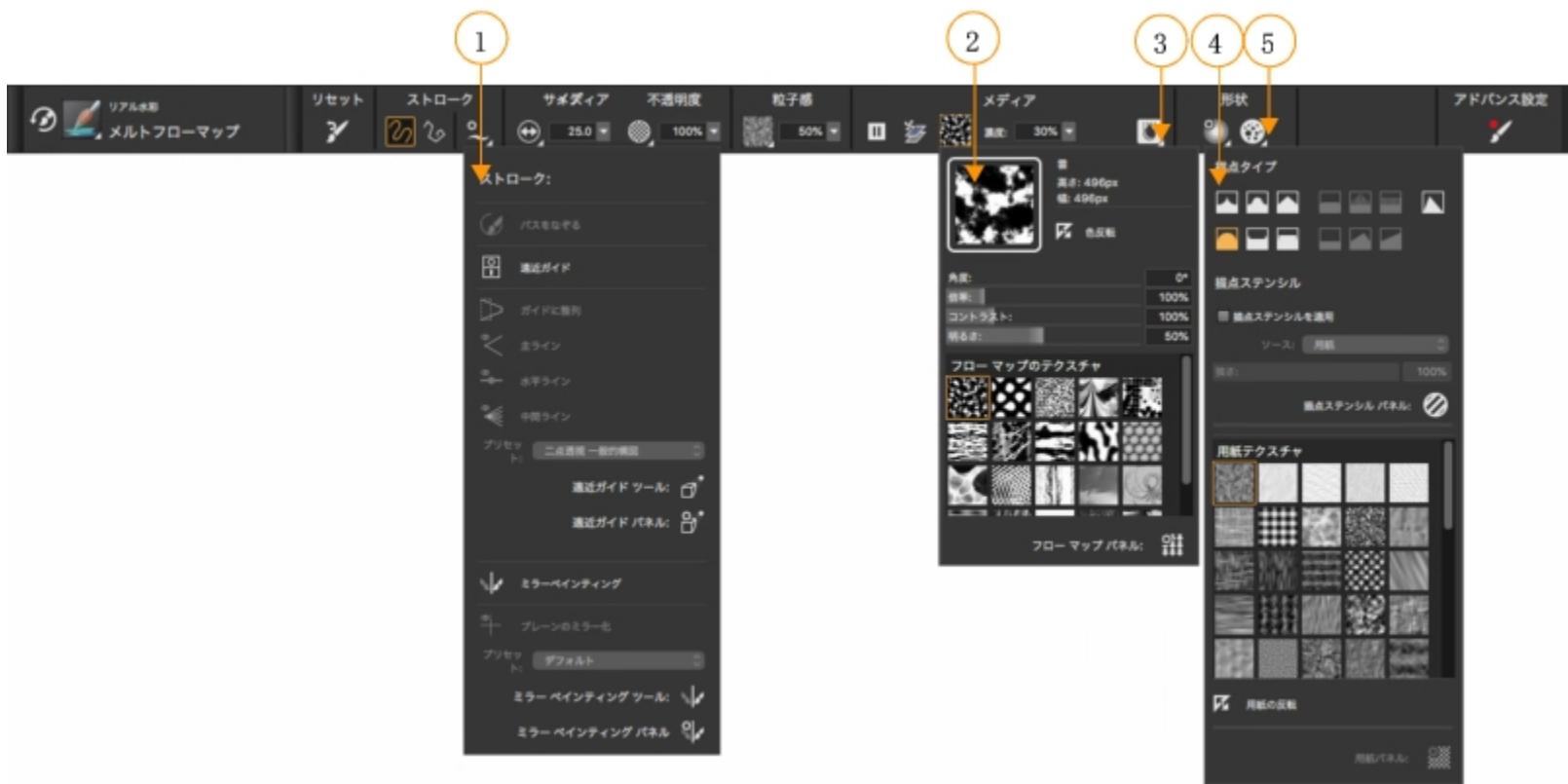
ブラシを変更する

ブラシ ツールを選択している場合、プロパティ バー上でブラシ バリエントを素早く変更できます。一部の基本的な属性（サイズや不透明度など）はすべてのブラシに共通していますが、その他の属性は選択したブラシ カテゴリに固有です。



プロパティバーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループ ラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。(1) [リセット] ボタンを使用すると、選択したブラシのデフォルト設定を復元できます。(2, 3, 4) すべてのブラシに共通のコントロール、(5, 6, 7) ブラシ固有のコントロール、(8) [詳細 ブラシ コントロール] ボタンを使用すると、アクティブなブラシ バリアントに関連するパネルにアクセスできます。

プロパティバーには、選択したブラシ カテゴリやブラシ バリアントに応じたフライアウトが用意され、アクティブなブラシやツールに関連してよく用いられる機能にアクセスできます。



リアル水彩ブラシ バリアントのプロパティバー: (1) [ストローク] フライアウト、(2) [フロー マップ] フライアウト、(3) [リアル水彩] フライアウト ボタン、(4) [描点オプション] フライアウト、(5) [プリスル] フライアウト ボタン、アイコンの背景の形は用途を示しています。正方形の背景 (4) は、ブラシのメディアのプロパティを変更する設定にアクセスできることを示します。丸い背景 (4, 5) のアイコンでは、ブラシの形状を制御する設定にアクセスします。

基本的なブラシ属性を設定するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール** をクリックします。
- 2 ブラシセレクタバーの [ブラシセレクタ] をクリックします。
- 3 ブラシライブラリパネルで、ブラシカテゴリをクリックし、ブラシ バリアントをクリックします。
- 4 プロパティバーで以下のいずれかの操作を行います。
 - ブラシ サイズを設定するには、[サイズ] スライダー を動かすか、[サイズ] ボックスに値を入力します。

- ・ブラシストロークの不透明度を設定するには、【**不透明度**】スライダ  を動かすか、【**不透明度**】ボックスにパーセント値を入力します。



右の角カッコ (]) キーを押してブラシのサイズを大きくしたり、左の角カッコ ([) キーを押してブラシのサイズを小さくしたりすることもできます。

ブラシ ツールがアクティブになっている場合は、数字キーで不透明度を設定できます。各数字キーはそれぞれ、固定のパーセンテージに対応しています。たとえば、1 キーは 10%、5 キーは 50%、0 キーは 100% の不透明度を指定できます。

ブラシ カテゴリについて

Corel Painter 2021 には多数のブラシ カテゴリが用意されており、各カテゴリ内には多数のプリセット ブラシ バリアントが存在しています。ブラシ カテゴリの一覧については、製品ヘルプの「[ブラシ カテゴリについて](#)」を参照してください。

カスタム ブラシを作成する

Corel Painter の充実したブラシ ライブラリに用意されているブラシ バリアントをそのまま選択する以外に、[一般] ブラシ コントロール パネル内でブラシ バリアントを変更することも可能です。コントロール パネルでは以下の項目を設定できます。

- ・ [描点の種類] - メディアをキャンバスにどのように適用するかを設定します。
- ・ [ストロークの種類] - ブラシストロークをメディアにどのように適用するかを設定します。
- ・ [手法] および [サブカテゴリ] - 手法は、あらゆるブラシ バリアントの動作を最も基本的なレベルで決定付ける設定です。手法とそのサブカテゴリは、ストロークの外観の属性を表します。
- ・ [ソース] - ブラシ バリアントが使用するペイント材料の種類を指定します。

[一般] ブラシ コントロール パネルの使用方法について詳しくは、製品ヘルプの「[一般コントロール](#)」を参照してください。

[一般] ブラシ コントロールパネルを表示するには

- ・ [ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [一般] を選択します。

ツールボックスについて

ツールボックス内のツールは、ペイント、線やシェイプの作成、シェイプの塗潰し、書類の表示と操作、選択範囲の指定などに使用できます。

以下の表で、Corel Painter ツールボックスのツールを説明します。

ツール	説明
カラー ツール	<p> ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。プロパティバーには、アクティブなブラシに関連して最も一般的に使用される機能が表示されます。詳しくは、「ブラシを選択、管理、および作成する」を参照してください。</p>
	<p> スポイト ツール使用すると、既存のイメージから色をサンプリングできます。プロパティバーで色の値を確認できます。スポット ツールで色を選択すると、[カラー] パネルにもその色が示されます。詳しくは、「イメージから色を採取する」を参照してください。</p>

ツール



説明

塗潰しツールを使用すると、色、グラデーション、パターン、テキスタイル、クローンなどのメディアで領域を塗り潰せます。プロパティバーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。詳しくは、「[塗潰しを使用する](#)」を参照してください。



インタラクティブ グラデーションツールでは、キャンバス、選択範囲、レイヤー、チャンネルなどの領域を塗り潰し、グラデーションをイメージに適用することができます。詳しくは、「[グラデーションを適用する](#)」を参照してください。



消しゴムツールを使用すると、不要な領域をイメージから消去できます。詳しくは、「[イメージ領域を消去する](#)」を参照してください。

選択範囲ツール



レイヤー調整ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。詳しくは、「[\[レイヤー\] パネルを表示する](#)」を参照してください。



変形ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



長方形選択ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



楕円形選択ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



なげなわツールを使用すると、フリーハンドで選択範囲を指定できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



多角形選択ツールを使用すると、イメージ上のさまざまなポイントをクリックして直線セグメントで囲むことにより、領域を選択できます。詳しくは、「[パスベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



自由選択ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。詳しくは、「[ピクセルベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



[選択ブラシ]ツールを使うと、ペイントでフリーハンド選択を作成できます。詳しくは、「[ペイントによる領域の選択](#)」を参照してください。

ツール



説明

選択範囲調整ツールを使用すると、**長方形選択**、**楕円形選択**、および**なげなわ**ツールで作成した選択範囲やシェイプから変換した選択範囲を選択、移動、調節できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



クロップ ツールを使用すると、不要なエッジをイメージから削除できます。詳しくは、「[イメージをクロップする](#)」を参照してください。

整形ツール



ペン ツールを使用すると、直線と曲線のシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[直線および曲線の描画](#)」を参照してください。



フリーハンド ツールを使用すると、フリーハンド曲線を描くことでシェイプ パスを作成できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。



長方形シェイプ ツールを使用すると、長方形と正方形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



楕円形シェイプ ツールを使用すると、円形と楕円形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



テキスト ツールを使用すると、文字の形をしたイメージを作成できます。【**テキスト**】パネルを使って、フォント、文字のサイズ、およびトラッキングを設定します。詳しくは、「[テキストを追加する](#)」を参照してください。



シェイプ選択ツールを使用すると、**ベジェ** 曲線を編集できます。このツールを使用して、アンカー ポイントの選択や移動、コントロール ハンドルの調節を行うことができます。詳しくは、「[シェイプを選択する](#)」を参照してください。



開いているセグメントまたは閉じているセグメントを切断できます。セグメントが閉じている場合は、線またはポイントをクリックすると、シェイプ パスが開いた状態になります。詳しくは、「[シェイプ セグメントを切断/連結する](#)」を参照してください。



ポイント追加ツールを使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント削除ツールを使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。

ツール



説明

ポイント変換ツールを使用すると、スムーズ アンカー ポイントからコーナー アンカー ポイントへの変換、またはその逆の変換を実行できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。

フォト ツール



前回使用した [クローン] ブラシ バリARIANTに素早くアクセスできます。詳しくは、「[クローンでペイントする](#)」を参照してください。



スタンプ ツールを使用すると、[ストレートクローン] ブラシ バリARIANTに素早くアクセスし、1つのイメージ内または複数のイメージにわたって領域をサンプリングできます。詳しくは、「[オフセットのサンプリングを実行する](#)」を参照してください。



覆い焼きツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。



焼き込みツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。詳しくは、「[ミラー ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。



万華鏡ツールを使用すると、基本的なストロークを、カラフルで対称的な、万華鏡のようなイメージに変換できます。詳しくは、「[万華鏡ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。

合成ツール



黄金分割ツールを使用すると、伝統的な構図技法に基づくガイドを使用して構図を決定できます。詳しくは、「[黄金分割ツールを使用する](#)」を参照してください。



レイアウト グリッド ツールを使用すると、キャンバスを分割して、構図の決定に役立てることができます。たとえばキャンバスを縦横それぞれに 3 等分して、構図の 3 分割法を適用することができます。詳しくは、「[レイアウト グリッドを使用する](#)」を参照してください。



遠近ガイド ツールを使用すると、1 点透視、2 点透視、または 3 点透視のガイドを表示できます。詳しくは、「[遠近ガイドを使用する](#)」を参照してください。

ツール

ナビゲーション ツール



説明

手のひらツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。詳しくは、「[イメージを移動する](#)」を参照してください。

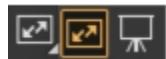


拡大ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。詳しくは、「[イメージを拡大する](#)」を参照してください。



用紙回転ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。詳しくは、「[イメージとキャンバスを回転する](#)」を参照してください。

セレクタ



表示セレクタを使用すると、書類ビューと表示モードを切り替えられます。詳しくは、「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



ツールボックスはデフォルトで開いていますが、ツールボックスのヘッダー バーの [閉じる] ボタンをクリックして閉じることも可能です。ツールボックスを再び開くには、[ウィンドウ] ▶ [ツールボックス] を選択します。

パネルとパレットについて

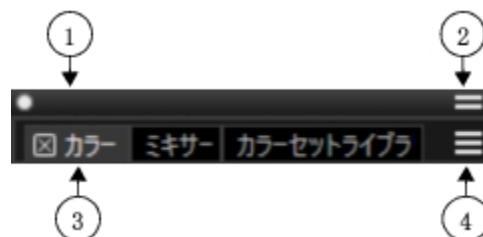
Corel Painter のインタラクティブ パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。



このパレット引き出しには、関連する 2 つのパネル[グラデーション]と[グラデーション ノード]があります。パネルの内容にアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter のほとんどのパレットにはオプション メニューがあり、関連するコマンドを実行できるようになっています。たとえば、[レイヤー コントロール] パネルのオプション メニューを使用すると、レイヤーのロック、複製、およびグループ化を実行できます。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1)、パレットをパレット引き出しに変換できる [パレット引き出し] ボタン (2)、パネル タブ (3)、関連する一連のコマンドにアクセスできるパネル オプション (4) があります。

次の表に、一般的に使用されるパネルの説明を示します。その他のパネルについて詳しくは、製品ヘルプの「パネルについて」を参照してください。

パネル

説明

[ブラシコントロール] パネル

[ブラシコントロール] パネルは、[ブラシコントロール] パレットに含まれています。[ブラシコントロール] は複数の [ブラシコントロール] パネルに分かれているため、作業しながらブラシバリエントを調節することも、既存のバリエントを変更して新しいバリエントを作成することも可能です。

ブラシバリエントをカスタマイズできます。詳しくは、「[ブラシコントロールを使用してブラシを調整する](#)」を参照してください。

[詳細ブラシコントロール] パネル

現在選択されているブラシに関する [ブラシコントロール] パネルのグループを生成します。ブラシの形状やメディアに関するパネルには、[編集] パネルで [形状] および [メディア]

パネル

説明

ショートカットを使用すると素早くアクセスできます。詳しくは、「[ブラシ コントロールについて](#)」を参照してください。

カラーパネル

カラー パネル (フル ビュー) カラー パネル (コンパクト)

メイン カラーおよびサブ カラーを選択して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[\[カラー\] パネルから色を選択する](#)」を参照してください。

ミキサー

[ミキサー] パレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜ合わせることができます。詳しくは、「[\[ミキサー\] パネルと混合コントロールについて](#)」を参照してください。

カラー セット ライブ ラリ

現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。詳しくは、「[カラー セットを使用する](#)」を参照してください。

ハーモニー

ハーモニー ルールを使用して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[カラー ハーモニーを使用する](#)」を参照してください。

[レイヤー] パネルおよび [チャンネル] パネル

レイヤー

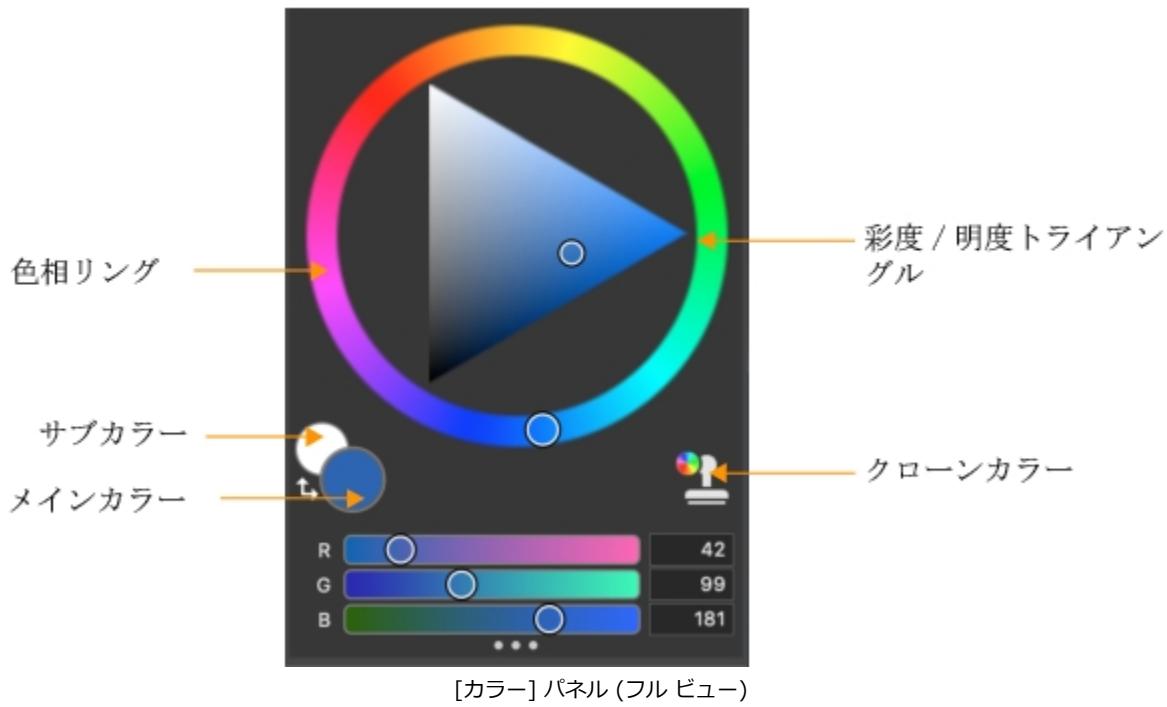
すべてのレイヤーのプレビューと操作が可能で、ダイナミック プラグインの適用、新しいレイヤー (デフォルト レイヤー、シックペイント レイヤー、水彩レイヤーやリキッド インク レイヤーなど) の追加、レイヤー マスクの作成、レイヤーの削除を実行できます。また、合成方法や奥行き、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。詳細は、「[レイヤー](#)」を参照してください。

チャンネル

RGB 合成チャンネル、レイヤーマスク、アルファ チャンネルなど、Corel Painter の書類内のすべてのチャンネルがサムネイル形式で表示されます。パネルからは、既存のチャンネルを読み込み、保存、反転することも、新しいチャンネルを作成することもできます。詳しくは、「[アルファ チャンネル](#)」を参照してください。

パネルとパレットを使用する

Corel Painter 2021 を起動すると、[カラー] パネルが自動的に開きます。このパネルは、[ミキサー]、[ハーモニー]、[カラー セット ライブ ラリ]、[レイヤー]、および [チャンネル] の各パネルとともに 1 つのパレット引き出しにグループ化されています。[カラー] パネルには、コンパクトとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、カラー ホイールとスライダの両方が表示されます。コンパクト ビューでは、スライダのみが表示されます。デフォルトでは、[カラー] パネル (フル ビュー) にはカラー ホイールと選択しているカラーの情報が表示されますが、これらの要素を隠すこともできます。



[カラー] パネル上的情報を隠すには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [カラー パネル] ▶ [カラー パネル (フル ビュー)] を選択します。
- 2 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
カラー ホイールを隠す	[カラー オプション] ボタン をクリックし、[カラー ホイール] を選択します。
カラー情報を隠す	[カラー オプション] ボタン をクリックし、[カラー スライダ] を選択します。

パネルは必要に応じて簡単に表示でき、作業が終了したら素早く閉じることができます。

パネルまたはパレットを表示する/隠すには

- [ウィンドウ] ▶ をクリックし、目的のパネル名を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

パレットの配置は、カスタム作業領域レイアウトとして保存することにより、後で再利用できます。また、不要になった時点で、そのカスタム作業領域レイアウトを削除できます。

作業に合わせて、パネルの表示を並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。またパレットは隨時カスタマイズでき、パネルを追加または削除する、パネルの位置を変更する、パネルを別のパレットに移動するなどの操作が可能です。

パネルをパレットにグループ化する

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パネルをパレットにグループ化する	パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。
パネルをパレットに追加する	パネルをパレットにドラッグします。
パレットからパネルを削除する	パネルをパレットの外にドラッグします。
パレット内のパネルの位置を変える	パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除すると作業領域から切り離されて移動できるようになります。

パレットやパネルをドッキング/ドッキング解除するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレットをドッキングする	パレットのヘッダー バーをアプリケーション ウィンドウの縦方向の縁にドラッグします。パレットとウィンドウの端と端が並ぶと吸着されます。
パレットのドッキングを解除する	パネルのタブの右側の空き領域を Corel Painter ウィンドウの端から離すようにドラッグします。
パネルをドッキングする	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウの垂直の端にドラッグします。パネルの端とウィンドウの端が並ぶと吸着されます。
パネルのドッキングを解除する	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウから離すようドラッグします。

パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。同時に、パレット引き出しを通常のパレットに戻すこともできます。パレット引き出しは、他のパレット グループと同様にサイズ変更や位置変更が可能です。

パレット引き出しを使用するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレット引き出しを作成するには	パレット ヘッダー バーの [パレット引き出し] 切り替えボタン  をクリックし、[パレット引き出し] をクリックします。
	パレット引き出しを通常のパレットに戻すには、直前の手順を繰り返します。

目的	操作内容
パレット引き出しを広げる/たたむには	パレット引き出しのヘッダー バーをダブルクリックします。
パレット引き出しを隠すには	ヘッダー バーの 【閉じる】 ボタン  をクリックします。
パレット引き出しを表示する	[ウィンドウ] ▶ [パレット引き出し] ▶ をクリックし、目的のパレット引き出し名を選択します。

カスタム パレットを作成する

Corel Painter では、必要な機能だけを含むカスタム パレットを作成できます。カスタム パレットを使用すると、目的の機能に素早くアクセスできます。たとえば、[ブラシライブラリ] パネルや [メディアライブラリ] パネル内のアイテムを、カスタム パレットに入れることができます。また、メイン メニューやパネル オプションのコマンドもカスタム パレットに追加できます。詳しくは、製品ヘルプの「[カスタム パレットを作成/変更する](#)」を参照してください。

カスタム パレット上のアイテムの表示方法を変更することも可能です。たとえば、テキスト、アイコン、または大きなアイコンとしてアイテムを表示できます。

カスタム パレットを素早く作成するには

- Shift キーを押し、次のいずれかの操作を行います。
 - [ブラシ セレクタ] パネルから書類ウィンドウにブラシ バリアントをドラッグします。
 - [用紙] ライブラリ ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [用紙])、[フロー マップ] ライブラリ ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [フロー マップ])、またはその他の [メディア] パネル ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [テクスチャ]、[パターン]、[グラデーション]、[ノズル]、[模倣]、[テキスタイル ライブラリ パネル]) のいずれかから書類ウィンドウに、用紙、フロー マップ、メディア ライブラリのサムネイルをドラッグします。

メニュー コマンド、コントロール、またはツールをカスタム パレットに追加するには

- [ウィンドウ] ▶ [カスタムパレット] ▶ [メニュー命令の追加] を選択します。
- [カスタム パレットの選択] リスト ボックスから **【新規】** を選択し、新しいパレットを作成するか、既存のカスタム パレットを選択します。
- 表示される [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、次の表のタスクを実行します。

追加するもの	操作内容
メニュー アイテム	メニュー アイテムをデフォルトの Corel Painter メニューから選択します。
その他のコントロール	メニュー アイテムを 【その他】 メニューから選択します。
パネル、またはパネルのオプション フライアウト メニューに含まれているアイテム	メニュー アイテムを 【パネル メニュー】 メニューから選択します。
ツールボックス ツール	メニュー アイテムを 【ツール】 メニューから選択します。
開いたパレットからのアイテム	アイテムをクリックします。

- [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、**【追加】** をクリックし、**【OK】** をクリックします。

ワークフローを選択する

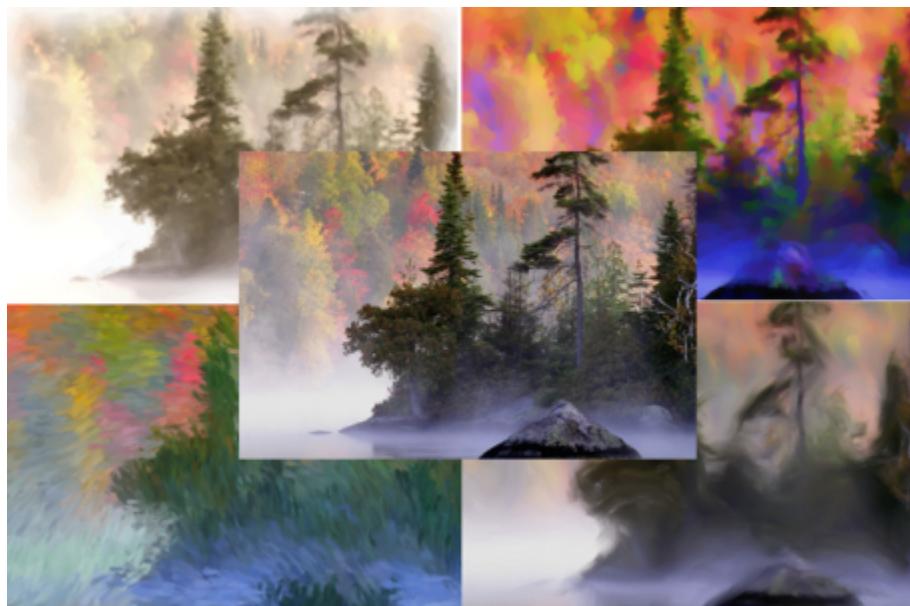
Corel Painter にはオリジナル アートワークを作成したり、制作スタイルに適したワークフローを使用したりする上で役立つ、さまざまなツールと機能が用意されています。

たとえば、Corel Painter のパワフルなクローン作成ツールを使用すると、デジタル フォトを素早くペイントに変換できます。またトレーシング ペーパー機能を使用して、フォト ベースのペインティングを開始することも可能です。トレーシング ペーパーを使用すると、クローン書類の下に半透明のソース イメージが表示され、キャンバスにクローン カラーを正確に適用できます。

実際の画材で描いたスケッチを出発点としたい場合は、スケッチをスキヤンして、Corel Painter 上でデジタルに仕上げられます。また、用紙テクスチャとブラシを選択してキャンバスに色を適用することで、Corel Painter 上でプロジェクトを一から開始することも可能です。

フォト アート: フォト ペインティング

Corel Painter を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。ソース イメージとして使用するフォトを用意するだけで、簡単に作業を開始できます。フォト アート作業領域レイアウトには、フォト ペインティングに関連するパレットとツールだけが表示されます。



さまざまなプリセット スタイルを使用して、写真をペイントに変換することができます。

Corel Painter には、写真などの既存のイメージをアート作品に変身させることができる、パワフルなイメージ クローン作成ツールがあります。クリック クローン機能を使うと、画像のクローンを作成するために必要なすべてを自動的に設定することや、空の書類から始めて 1 つまたは複数のクローン ソースを追加することができます。クローン ソースは、ブラシの色の参考に使われるものです。クローン ソースの色のクローンを作成し（色のコピー）、これを目的のキャンバスに適用します（書類のクローンを作成）。クローン ソースは埋め込むことも埋め込まないこともできます。クローン ソースを埋め込むと、そのクローン ソースは書類とともに保持され、ペイント中にクローン ソース間を素早く切り替えることができます。画像、テクスチャ、パターンをクローン ソースとして使うことができます。写真をペイントに変換したい場合など、クローン ソースを 1 度しか使わない場合は、画像として埋め込むことができます。クローン アセットをクローン ソースとして複数のプロジェクトで再利用する場合は、テクスチャまたはパターンとしてそれぞれ [テクスチャ] または [パターン] ライブラリに保存することができます。Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。目的に合うように構図のコンテキストでテクスチャを簡単に変形させることができます。クローンについて詳しくは、製品ヘルプの「[イメージのクローン作成と採取](#)」を参照してください。

合成イメージを作成する場合のフォトペイントのワークフローとして考えられるものは数多くありますが、ここではそのうちのひとつを説明します。Karen Bonaker 氏が手がけたペイントを例にして、埋め込み画像とテクスチャをクローンソースとして使う方法を紹介します。オリジナルのデジタルアートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

さらに Corel Painter には自動ペインティングツールが用意されており、デジタルイメージまたはスキャンしたフォトに基づくペインティングを効率よく作成できます。これらのツールを使用する上で、デジタルアートに関する経験は必要ありません。詳しくは、製品ヘルプの「[写真を自動ペインティングする](#)」を参照してください。

フォトアート作業領域レイアウトを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [フォトアート] を選択します。

クイッククローンを使用してイメージのクローンを作成するには

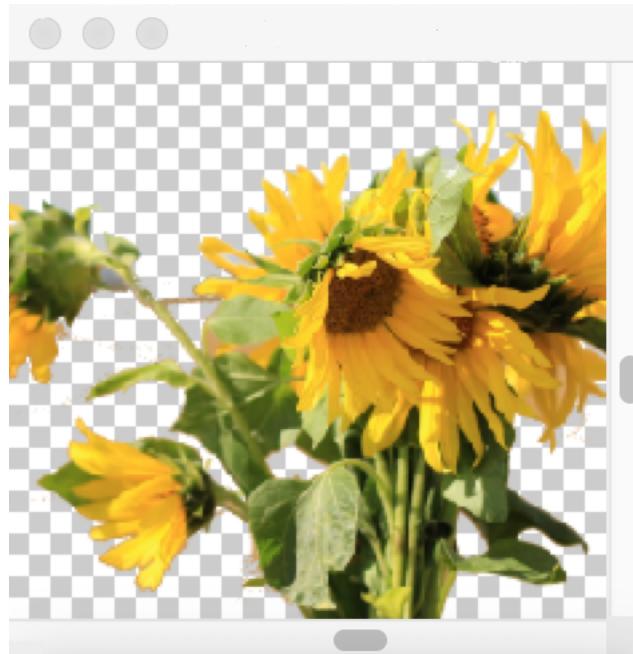
- 1 クローンの作成元になるイメージを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 クローンブラシを使用し、キャンバスにブラシストロークを適用します。



他のブラシカテゴリからブラシを選択して、これを設定して色のクローンを作成することもできます。この場合は、[カラー] パネルの [クローンカラー] ボタン  をクリックします。

書類にクローンソースを追加するには

- 1 書類を開くか作成します。

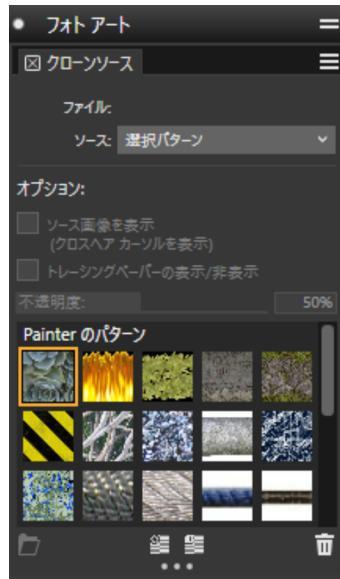


Corel Painter は、クローンソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。この例では、Karen 氏が透明な PNG を使用しています。

- 2 [クローンソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローンソース]) で、[ソース] リストボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。[埋め込みソースイメージ] ダイアログボックスで、[現行のドキュメント] オプションを有効にし、開いた書類のリストからクローンを作成したい書類を選択します。

ヒント: 画像を追加で埋め込むには、[埋め込みソースイメージ] ボタン  をクリックし、[ブラウズ] をクリックします。使用する画像が含まれているフォルダを特定し、[開く] をクリックします。

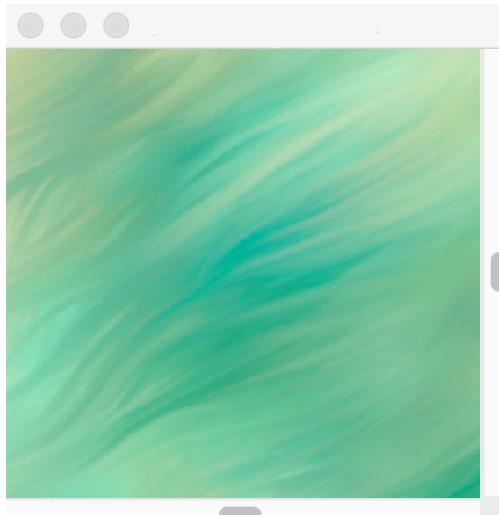
- 3 テクスチャをクローン ソースとして追加するには、[クローン ソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [テクスチャ] を選択します。リストのテクスチャのサムネイルをクリックします。テクスチャを書類ウィンドウに表示する場合は、[テクスチャを表示] チェック ボックスをオンにします。



コンテンツ アセットを作成し、[テクスチャ] ライブラリにインポートし、ペイントまたは写真のコラージュでクローン ソースとして使います。

ヒント: テクスチャのクローンを作成する前に、構図やコンセプトに合うように見た目を修正することができます。ヘルプで[テクスチャの修正](#)の詳細を確認してください。

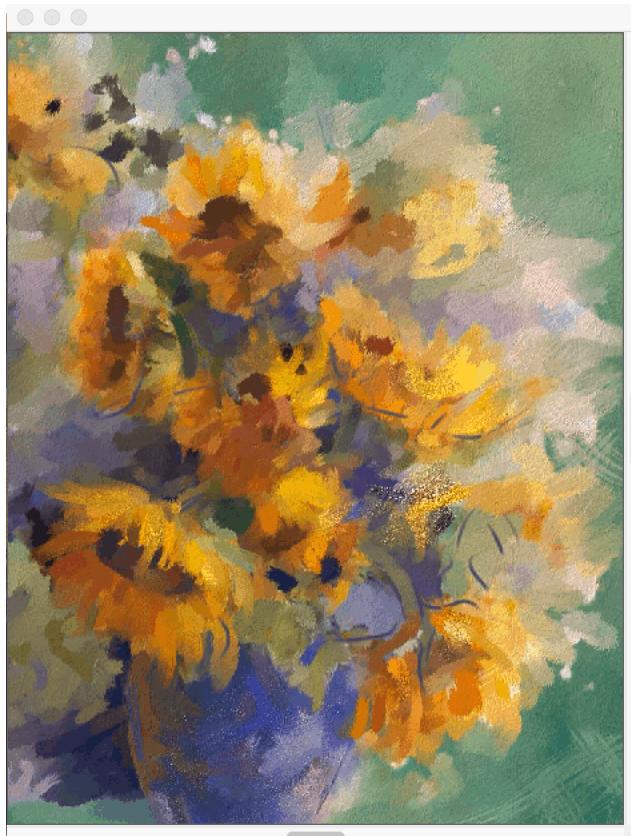
- 4 [ブラシ セレクタ] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (フル ビュー)]) で、[クローン] カテゴリからブラシを選択します。
- 5 クローン書類でペイントしてテクスチャのクローンを作成します。



この例では、Karen 氏がカスタム テクスチャを使用しています。

ヒント: テクスチャをクローン書類に埋め込んで今後使うことができるよう書類とともに保存するには、[クローンソース] パネルで、テクスチャのサムネイルを右クリックするか (Windows)、**Control** キーを押しながらテクスチャのサムネイルをクリックし (macOS)、[クローンソースイメージとしてのテクスチャの埋め込み] をクリックします。

- 6 埋め込みソースの画像に切り替えるには、[クローンソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。
- 7 クローン書類でペイントして画像のクローンを作成します。描画時には、[クローンソース] パネルの [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオン/オフにすることで、トレーシングペーパーのオン/オフを切り替えられます。



Karen Bonaker 氏が手がけたこのペイントでは埋め込み画像とテクスチャがクローン ソースとして使われています。



クローン ブラシ カテゴリ内のその他のバリエントも試してみてください。



[クローン] カテゴリのブラシ バリアントの例。ヘルプにブラシストロークの例がさらにあります。

他のブラシからクローン ブラシに切り替えるには、[カラー] パネルの[クローンカラー] ボタン  をクリックします。

フォト アート: トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 トレースしたい写真またはその他のアートワークを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クリッククローン] を選択します。
- 3 [クローンソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローンソース]) で [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスがオフになっていることを確認し、[クローン カラー] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [ブラシ メディア] ▶ [クローン カラー]) で [クローン カラー] オプションを無効にします。
ペイント対象の元の写真を視覚的な参照として確認することができますが、ペイントに使用するカラーを選択できます。
- 4 下にあるイメージを参照しながら、キャンバス上にイメージのアウトラインを描きます。

スタイルスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変えるには、[クローンソース] パネルの [不透明度] スライダを動かします。トレーシング ペーパーをオフにするには、[トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオフにします。

スキャンしたイラストを出発点とする

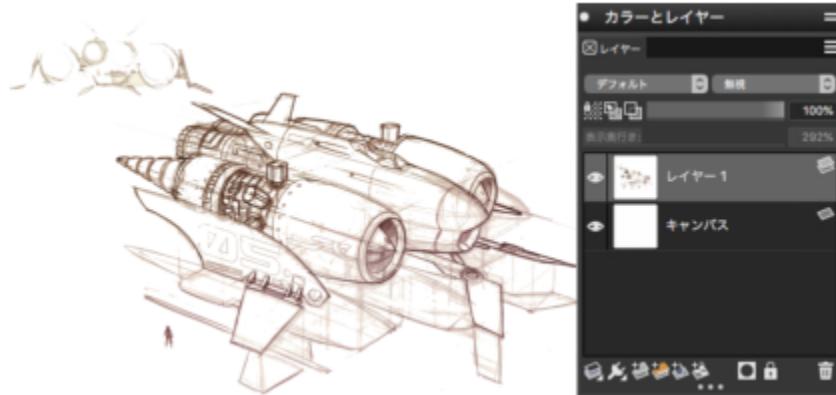
Corel Painter では、紙と鉛筆で描いた作品を簡単にデジタル化できます。今でも多くのグラフィック プロが、まずはイラストを手描きした上でスキャンし、そのイメージを Corel Painter にインポートする手法を好んでいます。

最初に、何らかの画材と紙を使用して描いたスケッチをスキャンし、JPEG 形式または TIFF 形式のファイルに保存する必要があります。

スキャンしたイラストを配置するには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] を選択して、スキャンしたイメージの配置先となる書類を作成します。
- 2 [新しいイメージ] ダイアログ ボックスで、スキャンしたイメージとほぼ同じ寸法になるように、書類の幅と高さを指定します。

- 3 [ファイル] ▶ [配置] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。
スキャンしたイメージのアウトラインが表示されるため、それをガイドとしてスケッチを配置できます。
- 4 輪郭が正しい位置にあるときに書類をクリックするか、[配置] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。
スキャンしたスケッチが新しいレイヤーになります。



アートワーク制作:Dwayne Vance

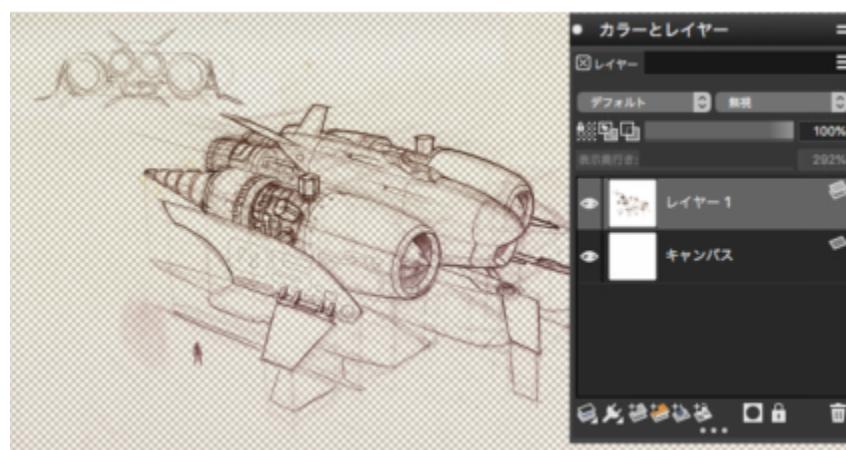
スケッチをスキャンまたは撮影すると、カラー スキヤナが拾った汚れや照明の映り込みなどの問題が生じることがあります。これらの問題は、キャンバスを非表示にして合成方法を変え、下にあるイメージとレイヤーのブレンド方法を調節することで簡単に修正できます。たとえば、レイヤーの合成方法を [フィルタ] に変えると、透明な背景上にスケッチが表示されるようになります。この方法では、白い部分がすべて透明になります。

スケッチの背景を透明にするには

- 1 [レイヤー] パネルで、キャンバスの隣にある目のアイコン をクリックします。
- 2 スケッチ レイヤーを選択し、[合成方法] リスト ボックスから [フィルタ] を選択します。



最初に白以外の色でキャンバスを塗り潰すことにより、キャンバスが表示されているときにフィルタ モードで作業を行うことも可能です。この場合はキャンバス上のペイントが可能なため、スケッチの下でペイントを行うことができます。この方法を選択すると、スケッチの大部分を素早くペイントしてから消しゴム ツール でクリーンアップできるため、多くのグラフィック プロが利用しています。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スキャンしたスケッチを新しい書類内に配置するのではなく、スキャンしたファイルを Corel Painter 内で直接開くことも可能です。この場合は書類のサイズ指定を当て推量で行う必要がありません。なお開いたスキャン ファイルは、キャンバス上にマウントされる点に留意してください。作業をより柔軟に行うために、キャンバスから専用のレイヤーに移動することをお勧めします。

スキャンしたイラストを開くには

- ・ [ファイル] ▶ [開く] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。

キャンバスからレイヤーに変換するには

- 1 [レイヤー] パネルで、キャンバスを右クリックし、[キャンバスを水彩レイヤーに変換] を選択します。
水彩レイヤーのデフォルトの合成方法は [フィルタ] です。
- 2 水彩レイヤーをダブルクリックし、テキスト ボックスに「**Sketch**」と入力します。
- 3 水彩以外のブラシ カテゴリに含まれるバリエントを使用したい場合は、レイヤーを右クリックし、[デフォルト レイヤーに変換] を選択します。

参照用として、シェイプおよび選択範囲を使用してスケッチ上に線画を追加することもできます。あるいは線画を専用のレイヤーにコピーした上で、ペイントイングに組み込むことも可能です。別のテクニックとして、スキャンしたスケッチを出発点とする場合にデザイン プロが多用するのが、スケッチの一部分を複製したシェイプの作成です。このシェイプにブラシストロークを加えたり、塗り潰したりすることも可能です。

シェイプを使用してスケッチを複製するには

- 1 ツールボックス内の以下のツールを使用して、スケッチの一部分を複製するシェイプを作成できます。
 - ・ ペン ツール  を使用すると、オブジェクト内に直線と曲線を作成できます。
 - ・ フリーハンド ツール  を使用すると、フリーハンド曲線を使用してシェイプ パスを作成できます。このツールはスケッチの各領域をトレースするのに最適です。
 - ・ 長方形シェイプ ツール  を使用すると、長方形と正方形を作成できます。
 - ・ 橋円形シェイプ ツール  を使用すると、円形と橋円形を作成できます。
- 2 ツールボックス内の以下のツールを使用すると、スケッチの一部分をよりきめ細かく複製できます。
 - ・ シェイプ選択 ツール  を使用すると、アンカー ポイントを選択して動かし、コントロール ハンドルを調節できます。
 - ・ ポイント追加 ツール  を使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。
 - ・ ポイント削除 ツール  を使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。
- 3 シェイプ レイヤー上ではペイント操作ができないため、シェイプの外観を納得いくまで調整できたら、そのレイヤーを選択し、[レイヤー] パネルの [新規レイヤー] ボタン  をクリックしてシェイプ レイヤーの上にレイヤーを作成します。
- 4 ツールボックスで ブラシ ツール  をクリックします。
- 5 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択します。
- 6 プロパティ バーで [ストロークのオプション] フライアウト ボタン  をクリックし、[パスをなぞる]  をクリックします。
パスまたはシェイプの許容幅の範囲内にブラシがある限り、自動的に輪郭に沿って描画されます。
- 7 [レイヤー] パネル内で、シェイプ レイヤー上に追加したレイヤーを選択し、ペイントします。



閉じたシェイプを使用する場合は、それらのシェイプを **塗潰しツール** で塗り潰せる選択範囲に変換できます。最初に目的のシェイプを選択し、**[シェイプ] ▶ [選択範囲に変換]** を選択します。

一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントする場合は、最初にキャンバス サイズ、解像度、および方向を設定します。キャンバス サイズと解像度を設定するときには、イメージ サイズが大きいほどより多くのイメージ詳細データを保持でき、イメージの縮小版を生成する必要が生じた場合にも画質を維持しやすいということを心に留めておいてください。詳しくは、「[解像度について](#)」と「[イメージとキャンバスのサイズを変更する](#)」を参照してください。

本書では、著名な Corel Painter マスターであるマイク トンプソンの作品をガイドとして使用しています。オリジナルのデジタルアートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

ペイント用の準備をするには

- 1 **[ファイル] ▶ [新規]** をクリックし、任意のオプションを選択してキャンバスをセット アップします。
- 2 **[解像度]** ボックスに値を入力します。
サンプル イメージでは、解像度を 200 dpi に設定しています。
- 3 **[単位]** リスト ボックスで測定単位を選択し、イメージの幅と高さを設定します。



このサンプル イメージでは測定単位にインチを使用しており、幅が 10 インチ、高さが 12 インチに設定されています。

- 4 **[キャンバス カラー]** セレクタをクリックして、カラー ピッカーからカラーを選択します。
サンプル イメージでは白を使用しています。
- 5 **[用紙]** セレクタをクリックし、**[用紙]** パネルから用紙テクスチャを選択します。
サンプル イメージでは、**[ベーシックペーパー]** を使用しています。



すばやく開始するために、Corel Painter を使用すると、[新規イメージ] ダイアログ ボックスから直接、シック ペイント レイヤー、水彩レイヤー、またはリキッド インク レイヤーを作成し、キャンバスの可視性と方向を設定し、カラー プロファイルを選択して、ドキュメントを開始できます。

キャンバスの最大サイズは、16,382 × 16,382 ピクセルです。パフォーマンス問題の発生を避けるため、作業開始時のキャンバス サイズは 16,382 × 16,382 より小さく設定してください。これはエッジの近くでペイントや効果を適用した場合に、レイヤーが拡張される可能性があるためです。

フォト、デザイン、または別のデジタル アートをベースにしてペインティングを開始する場合は、[参照イメージ] パネルを使用することで、インスピレーションの元となったビジュアル ソースを見ながら作業を行えます。これはワークフローを中断することなく、アートワークの向上に役立つ微妙なニュアンスを捉える上で効果的な方法です。パネルのサイズを変更するには、右下隅からドラッグします。[参照イメージ] パネルでは、イメージから色を採取する、イメージの位置を変える、拡大/縮小表示するといった操作も可能です。



参照イメージを表示するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [参照イメージ] を選択します。
- 2 [参照イメージ] パネルで、[参照イメージを開く] ボタン をクリックします。
- 3 [参照イメージを開く] ダイアログ ボックスで、開くファイルの名前を検索して選択します。
開くことができる参照イメージは、JPG、PNG、RIFF、および PSD のファイル形式で保存されている必要があります。
- 4 [開く] をクリックします。



[参照イメージ] パネルで複数レイヤーを含む RIFF、TIFF、または PSD 形式のファイルを開くと、すべてのレイヤーが結合されます。

参照イメージから色を採取するには、**スポットツール** をクリックし、採取したい色の位置までカーソルを動かしてクリックします。カラー タイルが、スポットツールで選択した色に変わります。

書類のセットアップが完了したら、ブラシと色を選択してペインティングを開始できます。Corel Painter では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Corel Painter のブラシは、油彩や水彩だけでなく、鉛筆、ペン、パステルなど、多種多様な画材でペイント/描画することができます。

ブラシ バリエントとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別に [ブラシ ライブラリ] パネルに保存されています。詳細は、15 ページの「[ブラシを選択/変更する](#)」を参照してください。

ブラシ バリアントはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。多くのアーティストが、ブラシ バリアントのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークの用紙テクスチャに対する反応) などの項目を微調整して使用しています。これらの設定はプロパティバーにあります。

ブラシを選択し、色を変更するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。

- 2 ブラシ セレクタ バーでブラシ カテゴリを選択し、ブラシ バリアントを選択します。

サンプル イメージでは、Mike は [ペンと鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆 (2B)] を選択しています。

- 3 色を変更するには、[カラー] パネルの [色相リング] をドラッグし、使用する色の範囲を表示してから、[彩度/明度トライアングル] をクリックして色を指定します。

[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値 (白) で、一番下は最小値 (黒) を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。

このサンプル イメージでは、Mike は明るい青色を選択しています。

ペイントイング作業を一から開始する場合は、ペイントイングの各要素をそれぞれ個別のレイヤーに配置することをお勧めします。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。また、あるレイヤーをスケッチとして使用し、そのスケッチをトレースすることで別のレイヤー上により詳細で正確なイメージを描くことも可能です。

レイヤーを追加/管理するには

- 1 [レイヤー] パネル ([ウインドウ] ▶ [レイヤー]) で、[新規レイヤー] ボタン  をクリックし、スケッチ レイヤーを作成します。

- 2 [レイヤー] パネルの新規レイヤーをダブルクリックし、「Sketch」と名前を付けます。

- 3 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックし、ペイントイングのベースになるラフ スケッチを作成します。



アートワーク作成者:マイク トンプソン

- 4 トレーシング レイヤーとして使用する新しいレイヤーを作成し、「Tracing」と名前を付けます。

- 5 Sketch レイヤーを選択して、[不透明度] スライダーを 70% の位置に動かします。



6 トレーシング レイヤーを選択し、別のブラシ バリエントと色を選択して、スケッチをベースにしたより明瞭なラインによる描画を開始します。



Mike は [ペンと鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆] を選択しています。アートワーク作成者:マイク トンプソン

スケッチをトレースし終わったら、Corel Painter 2021 によるさまざまな機能を活用してペインティングを仕上げることができます。



アートワーク作成者: マイク トンプソン

Mike はこのペインティングを仕上げるために、塗潰しツール、[油彩] および [ブレンド] ブラシ カテゴリ内のブラシ、ミキサーパッド上で混ぜ合わせた色、およびその他のさまざまな機能を活用しています。

このペインティングのより詳しい作成方法、またはマイク トンプソンに関する詳細情報はオンラインで入手できます。

その他のリソース

以下に示す Corel Painter のオンライン リソースで詳細な製品情報を入手していただけます。また、Corel Painter のコミュニティにもご参加ください。

リソース

- Corel Painter Web サイト
- Corel Painter チュートリアル
- Twitter の Corel Painter ページ
- Facebook の Corel Painter ページ

アクセス先

- <http://www.painterartist.com>
- <http://www.youtube.com/user/PainterTutorials>
- <http://www.twitter.com/corelpainter>
- <http://www.facebook.com/corelpainter>

Corel Painter ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。